

國學院大學學術情報リポジトリ

彙報

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001028

彙報

平成二十七年年度（所属・役職は開催当時、敬称略）

▽研究開発推進センター研究事業

（出張）

- ・「北海道神宮に関する資料調査」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、高野裕基（研究開発推進機構助教）、武田幸也（研究開発推進機構助教）、平成二十八年三月十一日（金）～十三日（日）、北海道札幌市（北海道神宮）

▽二十一世紀研究教育計画委員会研究事業「地域・渋谷から発信する共存社会の構築」

「共存学」グループ

〈公開研究会〉

- ・共存学公開研究会「移民と多文化共存」、報告Ⅱ宮下良子（大阪市立大学）「グローバル化する在日コリアン寺院―2016―」、川崎のぞみ（筑波大学）「東日本大震災被災地支援における在日ムスリム団体の対応」、星野壮（大正大学）「在日ブラジル人と宗教―カトリック教会を中心に―」、コメントⅡ菊田真司（法学部教授）、菅浩二（神道文化学部准教授）、討議司会Ⅱ白波

瀬達也（関西学院大学）、共催Ⅱ「宗教と社会」学会公

認プロジェクト「現代日本における移民と宗教」プロジェクト、平成二十八年二月二十六日（金）、十三時三十分～十七時三十分、A M C棟五階会議室〇六

平成二十八年年度（所属・役職は開催当時、敬称略）

▽研究開発推進センター会議

- ・第一回、平成二十八年四月六日（水）十五時～十六時、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・第二回、平成二十八年九月十四日（水）十三時～十四時、A M C棟五階会議室〇六

▽研究開発推進センター研究会

- ・第一回、上西亘（研究開発推進機構助教）「藤澤親雄の『戦中戦後』―主張の比較と世界平和原理について―」、平成二十八年五月十七日（火）十六時三十分～十七時五十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・第二回、高野裕基（研究開発推進機構助教）「札幌神社の戦中・戦後の教化活動」、平成二十八年六月十五日（水）十六時～十八時、A M C棟五階プロジェクトルーム二

・第三回、東郷茂彦（研究開発推進機構共同研究員）
「近代の神社における大祓式・大祓詞の一考察」、平成二十八年七月十三日（水）十八時三十分～二十時、A M C棟五階プロジェクトルーム二

・第四回、東郷茂彦（研究開発推進機構共同研究員）「近代における大祓式の再興と変容」、神杉靖嗣（研究開発推進機構客員研究員）「杵築の国学者物集高世の神道論」、平成二十八年十一月十六日（水）十八時三十分～二十時三十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二

▽研究開発推進センター研究事業（北海道神宮の研究）

〈出張〉

・「北海道神宮 札幌まつり調査」、大東敬明（研究開発推進機構准教授）、平成二十八年六月十五日（水）～六月十六日（木）、北海道札幌市

▽研究開発推進センター研究事業（霧島神宮の研究）

・霧島神宮誌編纂委員会第二回全体会議、平成二十八年七月十一日（月）、十五時～十六時三十分、明治記念館

▽二十一世紀研究教育計画委員会研究事業「地域・渋谷から発信する共存社会の構築」

「共存学」グループ

〈平成二十八年年度共存学研究会〉

・第一回、笠間直穂子（文学部准教授）「郊外の声 フランスのヒップホップと移民社会」、平成二十八年五月十三日（金）、十六時三十分～十八時、A M C棟五階会議室〇六

・第二回、黒澤直道（文学部教授）「中国ナシ族の過去と現在―歴史・言語・文化」、平成二十八年九月十四日（水）十五時～十七時、A M C棟五階会議室〇六

〈國學院の学問（共存学）〉各回十時三十分～十二時、一三〇六教室

・第一回、古沢広祐（経済学部教授）「共存学が目指す地平―地域から国際・グローバル地球社会（東日本大震災後の日本と世界を考える）」、四月十三日（水）

・第二回、古沢広祐（経済学部教授）「共存学が目指す地平―地域から国際・グローバル地球社会（東日本大震災後の日本と世界を考える）」、四月二十日（水）

・第三回、藤本頼生（神道文化学部准教授）「自然災害との共存―自然災害伝承と神社由緒との関係性にみる―」、四月二十七日（水）

・第四回、黒崎浩行（神道文化学部教授）「都市生活における共存と神社の関わり」、五月十一日（水）

- ・第五回、茂木栄（神道文化学部教授）「海と山を繋ぐ神みち」、五月十八日（水）
- ・第六回、菅井益郎（経済学部教授）「田中正造の歩みと公害の歴史から考える東電福島原発災害」、五月二十五日（水）
- ・第七回、松本久史（神道文化学部准教授）「近世国学における「共存」―近世国学や神道思想から見た共存の諸相―」、六月一日（水）
- ・第八回、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）「旧派和歌」「新派和歌」共存の時代―和歌から近代短歌へ―」、六月八日（水）
- ・第九回、菅浩二（神道文化学部准教授）「歴史認識」とネイション・エスニシティー日鮮同祖論と神社の歴史を切り口に―」、六月十五日（水）
- ・第十回、菅浩二（神道文化学部准教授）「冥王星と宇宙葬」、六月二十二日（水）
- ・第十一回、ヘイヴンズ・ノルマン（神道文化学部教授）「文化多様性と共存の行方―欧米の動向をふまえて―」、六月二十九日（水）
- ・第十二回、菊田真司（法学部教授）「共存の政治的条件」、七月六日（水）
- ・第十三回、磯村早苗（法学部教授）「グローバル化時

代の「共存」と越境的ガバナンス」、七月十三日（水）

・第十四回、古沢広祐（経済学部教授）「エコロジーの世界観と「人・自然・宇宙」（まんだら）―「共存・共生」の視点から人間を問う―」、七月二十日（水）

〈出張〉

- ・古沢広祐（経済学部教授）、茂木栄（神道文化学部教授）、杉内寛幸（研究開発推進機構ポスドク研究員）、「熊本地震被災地の復興に関する現地調査」、平成二十八年七月二十五日（月）～七月二十八日（木）、熊本県熊本市、阿蘇市

・古沢広祐（経済学部教授）、菅浩二（神道文化学部准教授）、「生物多様性条約第十三回締約国会議出席」、平成二十八年十二月十一日（日）～十二月十七日（土）、メキシコ国キンタナ・ロー州カンクン

「渋谷学」グループ

〈研究会・シンポジウム〉

- ・第一回『渋谷学叢書 五』研究会、平成二十八年五月三十一日（火）十八時十五分～二十一時、AMC棟五階プロジェクトルーム二

・第一回渋谷学研究会「現代社会と民俗学―民俗学の可能性を考える―」、報告Ⅱ飯倉義之（文学部准教授）「現

- 代都市社会のコミュニケーションと「陰謀論」的思
考」八木橋伸浩（玉川大学教授）「都市」と民俗学」、
岩崎真幸（みちのく民俗文化研究所代表）「民俗のも
つ力ー東日本大震災を経験してー」、コメンテーター
Ⅱ 新谷尚紀（文学部教授）、コメンテーター／司会Ⅱ
小川直之（文学部教授）、平成二十八年七月二日（土）
十三時三十分～十七時、A M C棟五階会議室〇六
- ・第二回渋谷学研究会（第二回『渋谷学叢書五』研究会）
「にぎわい」から渋谷を科学する」、報告Ⅱ秋野淳一
（研究開発推進機構ポスドク研究員）「渋谷の都市祝祭
と地域社会」、半戸文（國學院大學大学院文学研究科
博士課程後期）「渋谷の花街」、コメンテーターⅡ林和
生（文学部教授）、佐藤豊（渋谷区郷土写真保存会副
会長・写真家）、司会Ⅱ上山和雄（文学部教授）、平成
二十八年八月一日（月）十七時～十九時十分、A M C
棟五階会議室〇六
- ・第三回『渋谷学叢書五』研究会、平成二十八年八月
二十九日（月）十七時～二十一時、A M C棟五階プロ
ジェクトルーム二
- ・第四回『渋谷学叢書五』研究会、平成二十八年十一
月三日（木）十四時～十九時二十分、A M C棟五階会
議室〇六
- （総合講座「渋谷学」）各回十時三十分～十二時、
一三〇三教室
- ・第一回、林和生（文学部教授）「台地と川がつくった
魅力あふれるにぎわいの街・渋谷ー台地（丘）と河谷
と坂道の街ー」、九月二十一日（水）
- ・第二回、西樹（シブヤ経済新聞編集長）「シブヤ経済
新聞と渋谷」、九月二十八日（水）
- ・第三回、秋野淳一（研究開発推進機構ポスドク研究員）
「都市祭りの宗教学ーSHIBUYA109 前の神輿集合をど
う捉えるかー」、十月五日（水）
- ・第四回、吉岡孝（文学部准教授）「江戸時代渋谷の藩
邸と名所」、十月十二日（水）
- ・第五回、上山和雄（文学部教授）「渋谷の近代」、十月
十九日（水）
- ・第六回、手塚雄太（本学兼任講師）「渋谷区の誕生」、
十月二十六日（水）
- ・第七回、高久舞（研究開発推進機構客員研究員）「渋
谷の祝祭空間とその変容」、十一月九日（水）
- ・第八回、飯倉義之（文学部准教授）「昔話・伝説・世
間話」、十一月十六日（水）
- ・第九回、根岸茂夫（文学部教授）「谷間の村と町の風
景ー渋谷学ー」、十一月三十日（水）

・第十回、遠藤潤（神道文化学部准教授）「近世渋谷の仏教」、十二月七日（水）

・第十一回、黒崎浩行（神道文化学部教授）「渋谷の住宅地と神社祭礼」、十二月十四日（水）

・第十二回、田原裕子（経済学部教授）「渋谷らしさの構築と変容―若者の街、ファッションの街、ITの街―」、十二月二十一日（水）

・第十三回、橋元秀一（経済学部教授）「渋谷エコノミー―統計データからみた渋谷区およびシブヤの地域経済的な特徴と課題―」、一月十一日（水）

・第十四回、山口堪太郎（東急電鉄株式会社）「『渋谷文化』と再開発」、一月十八日（水）

▽二十一世紀研究教育計画委員会研究事業「古事記学」の構築」

〈研究会〉

・第一回、谷口雅博（文学部准教授）「『古事記』の本文校訂14三貴子の分治」、平成二十八年五月二十五日（水）十六時～十七時三十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二

・第二回、谷口雅博（文学部准教授）「『古事記』の本文校訂15須佐之男命の昇天」、武田幸也（研究開発推進

機構助教）「皇典講究所・國學院の神職養成と『古事記』」、平成二十八年七月六日（水）十六時～十七時、A M C棟五階会議室〇六

・第三回、谷口雅博（文学部准教授）「『古事記』の本文校訂16「うけい」、岩瀬由佳（文学部教授）「『井戸の中の男』のアレゴリー解釈の発展について―ヒンドゥーから仏教、イスラームへ―」、キロス・イグナシオ（研究開発推進機構客員研究員）「『古事記』英文訳についての報告および検討」、平成二十八年九月二十八日（水）十六時～十七時三十分、A M C棟五階会議室〇六

・第四回、藤本頼生（神道文化学部准教授）「『古事記』祭神名の社会的受容と神社考証―地域神社を例に―」、平成二十八年十月十九日（水）十六時～十七時、A M C棟五階会議室〇六

・第五回、鍛谷僚（研究開発推進機構作業協力者）「古事記学データベース構築作業について」、平成二十八年十一月九日（水）十六時～十七時、A M C棟五階会議室〇六

〈講演会・シンポジウム〉

・國學院大學二十一世紀研究教育計画委員会研究事業「古事記学」の構築 国際シンポジウム、総合テーマ

「神話の詩学―舞・歌・型―」、第一部「受け継がれる神話的世界―宮地嶽神社の「ツクシ舞」と巨石古墳―」、浄見讓（宮地嶽神社宮司・ツクシ舞家元）「ツクシ舞と阿曇磯良」、ツクシ舞実演「ツクシ神舞 浮神」「ツクシ神舞 秋風の辞」「八乙女舞 橘」、第二部「神話の詩学」、渡邊卓（研究開発推進機構助教）「記紀歌謡の世界」、アラン・ロシエ（フランス高等研究実習院 Ecole pratique des hautes études 教授）「神話の詩学」、司会進行・平藤喜久子（研究開発推進機構准教授）、平成二十九年一月二十一日（土）十三時三十分～十七時、百周年記念館四階百周年記念講堂

▽外部研究機関との共催研究事業

・神道文化会第十八回公開講演会「神話と神道文化」（共催）國學院大學研究開発推進センター）、平成二十八年六月十八日（土）十三時～十六時、AMC棟一階常磐松ホール、講演1「現代と神話の読まれ方」、講師＝平藤喜久子（國學院大學研究開発推進機構准教授）、講演2「古代の神話の読まれ方」古語拾遺」を中心に、講師＝松本久史（國學院大學神道文化学部准教授）

▽國學院大學院友神職会總會研究報告会（國際學術交流事業（國學院大學院友神職会奨学資金））

・上西亘（研究開発推進機構助教）「平成二十七年年度米国マサチューセッツ州ハーバード大学ライシャワー日本研究所派遣についての概要」「異色」の神道人藤澤親雄の國體論について」、平成二十八年十月十四日（金）十七時三十分～十八時十五分、五号館五二〇一教室

▽成果公開

〈刊行物〉

- ・『別冊渋谷学ブックレット 渋谷らしさの近未来』平成二十八年十一月
- ・『都市民俗研究』第二十二号、平成二十九年二月
- ・『渋谷学叢書5 渋谷 にぎわい空間を科学する』雄山閣、平成二十九年二月
- ・『渋谷聞きがたり4 セピア色のころ』昭和三〇年代の國學院女子学生―平成二十九年二月
- ・『共存学4…多文化世界の可能性』弘文堂、平成二十九年一月
- ・『國學院大學研究開発推進センター研究紀要』第十一号、平成二十九年三月